

□□□□4. □□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□**2018**

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

4. □□□□□□□



VIDEO

1. ガイドライン改定のポイントと蕁麻疹診療の課題

蕁麻疹診療ガイドライン2018のポイント

今回の改定の概要¹⁾

2011年版のガイドライン作成時以降に発表されたエビデンスを検証し、グローバルガイドライン（国際ガイドライン²⁾）との整合性を取るとともに、わが国の現状を踏まえ、また、医師、患者および医療関係者がどのように蕁麻疹を捉え、問題を解決するために行動すべきかを示すことを目指して作成された。

今回の改定の特徴³⁾

蕁麻疹診療に関する情報を実用性の観点からより系統的に整理し、より洗練した行動指針を明示した。

具体的な変更点³⁾

1. 主たる病型の分類の微修正
2. 治療アルゴリズムの改定
3. 蕁麻疹の病型毎の治療法のエビデンスと推奨度の整備
4. 19の基本的行動指針の提示
5. 「評価」の項の新設

1.

1.

□□□□

蕁麻疹診療ガイドライン2018における 「基本的行動指針」の新設

- 診療ガイドラインとは、「診療上の重要度の高い医療行為について、エビデンスのシステマティックレビューとその総体評価、益と害のバランスなどを考慮して、患者と医療者の意思決定を支援するために最適と考えられる推奨を提示する文書¹⁾」と定義されている²⁾
- 「具体的な医療現場における行動のための意思決定に資することが必要²⁾」との考察から、「基本的行動指針」の章を新設した
- この章は、臨床現場における行動の決定を支援することを目指して作成され、「～する」「～てはならない」「～ても良い」といった語尾を持つ19の推奨文により構成されている²⁾

2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

□□□□

3. 推奨度とエビデンスレベル

蕁麻疹診療ガイドライン2018の推奨度とエビデンスレベル

推奨度	説明	推奨度とエビデンスレベル	臨床的意義
1: 強い推奨 (recommend)	推奨された治療によって得られる利益が大きく、かつ、治療によって生じる負担が小さく、または、利益によって生じる負担を上回ると思われる。	1A	根拠のレベルが高く、治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる負担が小さく、または、利益によって生じる負担を上回ると思われる。したがって、医師は、推奨した治療を行うことが勧められる。
2: 弱い推奨 (suggest)	推奨した治療によって得られる利益の大きさは不確実である、または、治療によって生じる負担が利益を上回っていると考えられる。		
エビデンスレベル	研究デザイン	説明	
A (強い)	- ランダム化比較試験の結果が一致し、かつ、多数の一致した結果のランダム化比較試験の結果が一致している。 - ランダム化比較試験の結果が一致している。	結果はほぼ確実であり、今後研究が新しく行われても結果が大きく変化する可能性は少ない。	1B 1C
B (弱い)	- ランダム化比較試験の結果が一致し、かつ、多数の一致した結果のランダム化比較試験の結果が一致している。 - ランダム化比較試験の結果が一致している。	結果を支持する研究があるが十分ではないため、今後研究が行われた場合に結果が大きく変化する可能性がある。	
C (弱い)	- ランダム化比較試験の結果が一致し、かつ、多数の一致した結果のランダム化比較試験の結果が一致している。 - ランダム化比較試験の結果が一致している。	結果を支持する研究の弱い研究がない。	2A 2B 2C

(推奨度とエビデンスレベルは本ガイドライン2018年版の標準に準拠)

*1: ランダム化比較試験の結果

*2: ランダム化比較試験の結果が一致している。注: 本ガイドライン2018年版の標準に準拠

本ガイドラインは、最新の医学的知見に基づいて作成されたものであり、最新の医学的知見に基づいて更新されるものと見做す。

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇

□□□□

□□□□□□□□

□□□□□

□□□□

□□□□□□□

□□□□

PFS□□□□

00000000

00000000000000

000000

00000000000000000000

Image



Source URL: https://loadtest.pro.novartis.com/products/xolair/urticarial/guideline_05